

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 今宿

作成日: 令和 5 年 10 月 7 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |                 |  |  |            |
|----------|------|-----------------|--|--|------------|
| 優先順位     | 自己番号 | 現状における問題点、課題    | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 5    | 運営推進会議を活かした取り組み | 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたので、対面方式の会議を再開していくが、今後のコロナ状況を判断しながら、会議運営に取り組んでいくことを検討している。     | 年々参加委員が減少傾向にあるので、知見者や地域住民代表、他グループホーム管理者、併設事業所管理者等に参加要請して、ホームの課題だけでなく、地域の問題や高齢者の相談等にも取り組める会議運営を目指していく。  | 12ヶ月       |
| 2        | 15   | 職員を育てる取り組み      | 新型コロナ5類移行になったが、毎日利用者の健康管理と心のケアに神経を使いながら取り組んでいる職員一人ひとりの体調に気を配り、職員のストレスチェックに取り組んでいく。 | 管理者との個人面談を頻繁に行い、職員の不安や悩み、要望を聴き取り、勤務体制や職場環境の見直しを行い、職員一人ひとりがゆとりを持って仕事ができる体制を目指していく。                      | 12ヶ月       |
| 3        | 37   | 災害対策            | 年2回避難訓練を実施しているが、職員全員が非常時に冷静に行動出来るかが不安である為、今後は訓練を頻繁に行える体制を整え、職員一人ひとりの意識と技術を高めていく。   | 利用者を巻き込まずに、職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで繰り返し訓練し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。 | 12ヶ月       |
| 4        |      |                 |  |  | ヶ月         |
| 5        |      |                 |  |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。